

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第1委員会 (令和5年度第3回会議)
日時	令和5年9月4日 13:30~16:40
審査対象	きのもと交遊館

審査結果概要

- (i) 施設所管課(市民活躍課)からの募集経過説明
- (ii) 申請団体(K-ZONE運営協議会)による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計

1,000点満点中:711点(100点満点中:71.10点)

- (v) 審査

指定管理者候補として適当と判断する者

所在地 長浜市木之本町木之本1118番地

名称 K-ZONE運営協議会

代表者 林 源栄

選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

委員 : 令和5年度予算書の人件費291万が令和7年度以降の収支計画では382万円と増額しているのはどういう要因か。一方で事業費は予算よりも少ない。収支計画の算定根拠を教えてください。

申請者 : SNS等を活用するため、知識のある職員を採用する予定をしているので、人件費が増えている。事業費については、予算作成時には収入増を目指して高めの水準で設定しているが、実際には施設の性質上、収入増が難しいため、記載のとおり水準としている。

委員 : 入館者・利用者数を200人ずつ増やしていく計画をたてているが、具体的にどういった取組みをして増やすのか教えてください。

申請者 : 入館者数は令和4年度を基準としており、きのもと宿祭りの展示を春夏秋に行ったり、市民活動の方の展示をしながら入館者の増加を目指したい。

委員 : 個人情報保護について、長浜市個人情報保護条例を遵守すると記載されているが、今年3月末に廃止し、個人情報条例保護法に基づき運用することになったのでご承知おきいただきたい。

申請者：承知した。

委員：緊急事態があった場合、危機管理対応マニュアルは定めているのか。

申請者：緊急連絡網を整備するとともに、想定されるリスクへの対応についてはマニュアルを作成している。また、AEDについても、緊急時に対応できるよう、地元消防団や有志と一緒に毎年1回訓練を行っている。

委員：新しく採用する職員はいつ頃から雇用するか具体的に考えているのか。

申請者：今年10月から週3日勤務し、SNSでの発信をしてもらう予定である。

委員：ニーズに合った事業を展開するとのことだが、ニーズはどういうところから収集するつもりか。

申請者：地域の方から要望があるので、そうした意向をふまえて事業を実施している。

委員：アンケートの反応はどうか。

申請者：ほぼ満足という反応が多く、概ね良好。まれに電話の対応が悪い等の苦情もある。

委員：K-ZONE運営協議会を構成しているのはどういう方々か。

申請者：自営業者が多い。

委員：少子高齢化等で組織の今後の担い手がないという悩みが多い。御社はどうか。

申請者：木之本の商店街は概ね事業継承がうまくいっている。若い世代がまちづくりに関わってくれているので、組織の若返りを図っていきたい。

審査

委員：収支計画書の人件費が最低賃金で設定されており、今後人件費の上昇が予測される中、5年間変動しないという点で収支計画書の実現可能性に疑問が残った。現実味のある数字で計画書を作成される方がよいと思う。

委員：地元の交流施設ということで、平成25年から11年にわたって指定管理者として運営いただいている。目新しい計画は見えないが、今までどおり安定した運営をしていただきたい。

委員：11年の実績をふまえて安定した経営をしていただきたい。今後は木之本ならではのものを活かした取り組みで観光客の増加を図ってほしい。

委員：組織の構成員が仕事をしながら、かつ、高齢化が進んでいる中、新しい事業をしていく余力が少ないのではないかと思う。併設しているカフェでの雑談から事業アイデアを収集しているという点が、木之本ならではの地域活性化策につながっていると感じた。従業員雇用による新しい展開に期待したい。

委員：施設所管課として、今後もK-ZOHN運営協議会がきのもと交遊館を運営していくことが望ましいと考えているか。

所管課：地域においてまちづくりの意欲のある団体なので期待している。

委員：公募である以上、新規参入しやすい条件を検討してほしい。

委員：住民ニーズを施設運営に活かすとともに、組織の将来のあり方を見据えて運営して

いただきたい。

委員長：K-ZONE運営協議会を指定管理者候補と判断してよろしいか。

全委員：異議なし。